

令和7年2月27日

産業厚生委員会

阿久根市議会

1 会議名 産業厚生委員会

2 日時

- (1) 期日 令和7年2月27日(木)
- (2) 開会 午後1時
- (3) 散会 午後3時29分

3 場所 第2委員会室

4 出席委員

| | | |
|-----|-----|------|
| 竹之内 | 和 満 | 委員長 |
| 大 野 | 雅 子 | 副委員長 |
| 白 石 | 純 一 | 委員 |
| 大 田 | 基 次 | 委員 |
| 竹 原 | 信 一 | 委員 |
| 牟 田 | 学 | 委員 |
| 濱 田 | 洋 一 | 委員 |

5 欠席委員

なし

6 職務のため出席した議会事務局職員

松 林 俊 介 議事係主任

7 説明員

| | | |
|-----|-----|---------------|
| 池 田 | 英 人 | 都市建設課長 |
| 松 下 | 直 樹 | 都市建設課長補佐兼管理係長 |
| 宮 路 | 隆 博 | 都市建設課都市計画係長 |

8 会議に付した事件

- (1) 議案第16号 阿久根市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
- (2) 所管事務調査について

9 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

竹之内和満委員長

ただいまから産業厚生委員会を開会します。

本委員会に付託された案件は、議案第16号、阿久根市都市公園条例の一部を改正する条例の制定についての1件です。

なお、本日の日程については御手元に配付してあります日程表のとおり進めていきますので、よろしくお願いいたします。

◎ 議案第16号 阿久根市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

竹之内和満委員長

議案第16号を議題とし、所管課である都市建設課への質疑を行いたいと思います。

それでは、都市建設課の入室をお願いいたします。

〔都市建設課入室〕

それでは、議案第16号について審査に入ります。

課長の説明を求めます。

池田都市建設課長

本日はよろしくお願いいたします。

それでは、議案書の37ページ、条例議案等参考の32ページをお願いいたします。

議案第16号、阿久根市都市公園条例の一部を改正する条例の制定についてであります。

この条例は、令和7年4月から番所丘公園のキャンプ場の供用を開始するため、その使用料を定めるものであります。

条例議案等参考の32ページを御覧ください。

別表第2の(4)のク、番所丘公園施設使用料のキャンプ場の使用区分をオートキャンプ以外、オートキャンプ及びドッグラン付きオートキャンプのそれぞれの区画に区分し、新たな区画使用料として、オートキャンプは、宿泊1区画1泊につき4,000円、日帰り1区画1日につき2,000円、ドッグラン付きオートキャンプは、宿泊1区画1泊につき5,000円、日帰り1区画1日につき2,500円とするものであります。

最後に、議案書の38ページを御覧ください。

附則では、条例の施行期日を令和7年4月1日としております。

以上で説明を終わりますが、よろしくお願いいたします。

竹之内和満委員長

課長の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑ございませんでしょうか。

濱田洋一委員

新旧対照表を見ているんですが、これまでもキャンプ場において入場料を徴収されていたということで、確認ですけれども、入場料1人、新たなこの改正後のですね、1人1回につきということで、それぞれ300円と100円なんですが、この1回というのは、どういったあれですかね。その辺をちょっと教えてもらえれば。

池田都市建設課長

この1回とした部分についてはですね、1泊したときに2日にわたるということで、それを含めた形で1回と。日帰りの方も1回という捉え方をしていただければというふうに思います。

濱田洋一委員

例えば1泊2日であれば、午後から入られて、次の日の午後まで1泊2日で3,000円ということですが、例えば、初日の日には参加するけど、2日目は、お友達とですね、行かれた場合に参加されないということであっても1回ということでは300円。そして、その日の午後から次の日の帰られるまでいらっしゃっても、1人300円と。大人の方についてはそのような捉え方でよろしいですね。

池田都市建設課長

委員おっしゃるとおりです。

白石純一委員

宿泊の場合ですね、皆さんもホテルに宿泊される時必ず多めにされると思うんですが、チェックイン時間、チェックアウト時間というのは必ず決められております。この場合は何時から何時なんでしょう。

池田都市建設課長

チェックインが2時で、チェックアウトが泊まりの場合については10時となっております。

白石純一委員

それは、条例では定めずに、実際に規則等で、現地で御案内するというので、あるいは予約のときですね、案内するというのでよろしいんですか。

池田都市建設課長

そちらについては指定管理者のほうで定めておまして、ホームページ等で周知をしているというところです。

白石純一委員

これもホテル業界では当然なんですけど、アーリーチェックインとかレイトチェックアウトですね、早めに入る、あるいは遅くまで滞在する。そのときも追加料金が必要なんですけれども、この場合はどうなんですか。

池田都市建設課長

追加料金が発生をいたします。

白石純一委員

それはこの条例に定めなくてよろしいんですか。

池田都市建設課長

そこについては指定管理者の事業ということで、条例には定めておりません。

白石純一委員

いや、条例で定めなくていいんですかという質問です。

池田都市建設課長

申し訳ありませんでした。

そこにつきましてはですね、備考欄のところに定めておまして。

誠に申し訳ございません。

備考欄の5番のところにですね、キャンプ場の区画使用料は、次に掲げる使用時間につ

いての使用料とし、当該使用時間外の時間については1時間につき500円を加算するという
ことで、1時間500円と条例で定めているところです。

白石純一委員

本会議でも申したんですが、このオートキャンプ以外って書いてあるんですけど、実際はオートキャンプの人も使うわけなので、この表記は非常に条例といえども紛らわしい。実際事実と違うわけですね、オートキャンプで使えるのにオートキャンプ以外と書いてあるわけですから、例えば、広場サイトとか、あとの2種類はちょっと高いところにありますのでテラスサイトとか、あるいはテラスサイト、ドッグラン付きとか、そういった表記にしないと非常に、これを見られた利用者は混乱すると思いますが、いかがですか。

池田都市建設課長

これを協議する中でも、いろいろ私なんかも考えたところだったんですけども、オートキャンプ、委員の言われるとおり、オートキャンプって車が乗り入れできますので、オートキャンプという認識はもちろんあります。

ただ、今回造るところがですね、電気、水道、駐車場、完備しているということで、そちらの方をオートキャンプという言い方をして、本会議でも説明させていただきましたすみ分けという形で、オートキャンプ以外、オートキャンプ、ドッグラン付きというふうに、今回提案させていただいたところがございます。

白石純一委員

条例は、その辺を、市民あるいは利用者に誤解のないように、誰にでも分かりやすく作るのが条例の基本だと思いますが、これだと誤解を招き得ると思うんですが、それは変更しなくていいんですか。

池田都市建設課長

本会議でも話をさせていただきましたけれども、今、分かりづらいという意見だと思います。指定管理者のほうで募集をかけるときには、しっかりとそういったところはすみ分けというか、名称を考えて募集をかけていただくということを思っておりますので、今回についてはこれで提案させていただいたところです。

白石純一委員

オートキャンプ以外とありますけど、オートキャンプ、車で乗り入れできるわけですからちょっと事実と違いますよね。それは本当にいいんですかということです。

池田都市建設課長

オートキャンプの定義というのはきちりとあるわけではないんですけども、車が乗り入れができればオートキャンプという捉え方もあるし、人によってはですね、電気、水道がないとオートキャンプと言えないっていう方もあるものですから、そういうところを網羅したところで、今回オートキャンプ以外ということにさせていただいたところです。

白石純一委員

電気、水道がないとオートキャンプとは言えないというのは、それは個人の主観であって、一般的には、車で乗り入れられるキャンプ場はオートキャンプというのが一般的な理解だと私は理解してるんですが、違いますでしょうか。

池田都市建設課長

私なんかもですね、車が乗り入れられればオートキャンプかなあというふうに思っただけなんですけれども、そういうことで指摘を受けたりもあるものですから、そういうとこ

ろで、今回はそういうすみ分けをさせていただいたというところです。

白石純一委員

そこは、理解の仕方によって違うのであれば、その理解の仕方にそごがないように、より分かりやすい、オートキャンプ、全てオートキャンプなわけですから、その中で、広場サイトとかテラスサイトとかに分けたほうが、少なくともこれは法令ですので、法令で、条例というのも法令ですので、法令で誤解を招くような表現はあってはならないと思いますが、いかがですか。

池田都市建設課長

委員おっしゃるのも理解はできますけれども、うちとしては、そこについては、今説明しましたように、すみ分けという形で今回提案させていただいたところです。

竹之内和満委員長

この際、暫時休憩に入ります。

(休憩 午後1時12分～午後1時12分)

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

牟田学委員

今、いろいろ聞いておりましたけれども、私はこれでいいと思っております。まずやってみてください、それで。お願いします。

白石純一委員

私の提案はですね、改正後に、左のキャンプ場のところをオートキャンプ場とした上で、広場サイト、テラスサイト、ドッグラン付きテラスサイトとすれば、誰にも誤解を招かないと思うんですが、現状のものでは誤解を招き得る。そうしたことが法令、条例で果たしているんでしょうか。それはいいと思われるかもしれませんが、それは主観であって、本当に客観的にそれでいいのかが、私は客観的に見てそうだと信じておりますが、それでもこれでやりたいということですか。一度決めたからといって、それを改めることを躊躇してはいけないと思うんですよね。

池田都市建設課長

都市建設課としてはこれでいきたいというふうに考えております。

竹原信一委員

まず確認をさせてください。

利用者の見込みを1,900名。そして年間の収入見込みが256万円。この間の説明があったと思います。

それから、年間経費は幾らになるかは計算ができていない。それから、経済効果は試算していない。

これは間違いないですか、これで。

池田都市建設課長

はい、間違いございません。

竹原信一委員

この事業の経済効果というのを、都市建設課が担当するものなのかなと思ったりするん

ですけども。

これ、市として取り組むやつにですね、都市建設課に経済効果を出せというのもおかしいような気がするんですけども、そういうふうに、この阿久根市役所はやってるんですか。事業に対しては、その担当課が経済効果を計算する、そういう仕組みになってるんですか、阿久根市役所は。

池田都市建設課長

整備を行ったことによる経済効果ということですけども、本来、本公園への来場者が増加することによって、キャンプ場の宿泊者が温泉に行ったりであるとか、市街地での飲食、買物などを行う費用等、また、阿久根市内に回遊してもらうことを目的としておりますことから、一概に費用対効果のみでキャンプ場を整備するというわけではないというふうに考えておりますので、御理解いただきたいというふうに思います。

竹原信一委員

そもそもの企画段階での想定しなきゃいけない話なんですけど、どうも、やることがごとくおかしいという気がするんですよ。

本当に、経済効果を試算しないで成功か失敗かなんてもう計ることもできないじゃないですか。成功の目標がないっていう話じゃん。そういうふうに見えて仕方ないんですけども。

そしてですよ、事業始めたら必ずここは修正したほうがいい、何かしなきゃいけないという、やらなきゃいけなくなりますよね。その担当も都市建設課がずっと引き受けていくんですか。

池田都市建設課長

番所丘公園の整備についてはですね、都市建設課が主管課ということになっておりますので、それで進めていきたいというふうに考えております。

竹之内和満委員長

ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なら、私も質問いいですか。

大野雅子副委員長

それでは暫時委員長の職務を行います。

竹之内和満委員

幾つかあるんですが、まずドッグランについてですが、ドッグランが1区画ということで、ペット連れの人たちが、1家庭というか、1団体あったら、もう次は、ペット付きは受け付けないという、そういうことになるんでしょうか。

池田都市建設課長

そうですね、ドッグラン付きのオートキャンプ場については、もうそれを使えないということになります。

ただ、今のですね、実際キャンプ場にペットを持込みで来られる方もいらっしゃるということで、その代わりリード付きであるということになりますので、そういった取扱いになるかというふうに思っております。

竹之内和満委員

ドッグランはないけども、リードがあればペットも持込みはできるということですね。

池田都市建設課長

そのときにはですね、狂犬病の予防接種をしたという証明を求めていますので、それがあれば対応できるということになっております。

大野雅子副委員長

委員長と職務を交代します。

竹之内和満委員長

休憩に入ります。

(休憩 午後1時18分～午後1時27分)

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

竹原信一委員

W i - F i 環境はどうなってますか。

池田都市建設課長

W i - F i 環境はですね、昨日もほかのところに出ましたように、今は15分が6分になっております。

今やろうとしてるのは、全体的な計画をちょっとしたんですけど、金額が結構上がるといことで、ポケットW i - F i を活用しようかなといことで、キャンプに来られた方に対して、そのポケットW i - F i を渡すとい。

[竹原信一委員「1つずつ」と呼ぶ]

そうです。そういう風に考えております。

竹原信一委員

温泉の割引券という話があつて、ほかにどんなことを考えるんでしょうか。

池田都市建設課長

今のところは温泉の利用券を考えておまして、それを大人が200円、子供100円の割引をしようといことで一応考えているところでは。

[竹原信一委員「大人、子供200円」と呼ぶ]

大人が200円、子供が100円の割引券といことです。

竹原信一委員

やっぱりこの温泉、こういうことつてさ、商工観光課じゃん、普通はね。先ほどのその経済効果も含めて、商工観光課がここの宣伝を担当するといようなことが必要になってくるんじゃないかとい気がするんですけど、その連携についてはどんなふうを考えておるんですか。

池田都市建設課長

これをするときにもですね、商工観光課と一応協議をしまして、どっちがするかといのもあつたんですけども、今回、初めての取組といことで、うちがやりましようといことで、今回は都市建設課で行うといふうになったところでは。

竹之内和満委員長

よろしいでしょうか、質問のほうは。

[「はい」と呼ぶ者あり]

それでは、都市建設課への質疑をこれで終了いたします。

都市建設課は退室をお願いいたします。

〔都市建設課退室〕

暫時休憩いたします。

(休憩 午後 1 時29分～午後 1 時31分)

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

これまで行いました審査のほかに行いたい審査がありましたら御発言をお願いいたします。

ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ほかの審査の御希望なしと認めます。

これより、議案第16号の採決を行います。

議案第16号について、各委員から御意見はございますでしょうか。

〔発言する者あり〕

まず意見。もういいですか。

〔発言する者あり〕

この後討論にいきますので、討議の中の意見でお願いします。

〔濱田洋一委員「条例制定に関する御意見ということですね」と呼ぶ〕

はい。何かございませんでしょうか。

竹原信一委員

いや本当さ、事業をするのに、経費が分からない、効果を試算していないってすごくないかこれ、皆さん。

仕事のやり方として、いつもこんな調子でやって、これ議会を通していいのかな。もうここまでやってしまったらしょうがないって考える方法もあるかもしれんけども、これは世の中通用しないと思いますよ。

白石純一委員

それはもう事業の予算のときにおっしゃいましたけれども、それはそれとして一応、事業としては採決されたわけです。予算が認められたわけですから、これはできるという前提で、我々はこの今の状況では話さなきゃいけないと思うんですね。

そこで私は、先ほど申したように、条例という法令の中で、誤解を招くような表現は厳に慎むべきだと思いますが、それを指摘されても、かたくなに修正するつもりが一切ないという姿勢こそ、私は問題だと思うんです。

竹之内和満委員長

ほかにも討議ございませんでしょうか。

〔発言する者あり〕

濱田洋一委員

いわゆる番所丘公園という公園が実際、当市にある中で、有効活用を図る中でいろんなことができる、そういう施設でありますから、ここで利益を生まなきゃいけないよ、とい

うような性格の問題ではないと思うんですよ。

先ほど執行部からもありましたように、やはり阿久根に来ていただくと。まずはこの番所丘公園で楽しんでいただいて、その後に食事に行ったり、何か土産物を買って帰っていただいたり、そういう方々がリピーターとなって、新たな客を、来ていただく、それが最大の目的であって、ここで利益を生みなさいよ、赤字やればどげんやとか、そういう性格の問題では、私はないと思うんです。

ですから、よくよく考えて物事は言わないと、これだけで、一つの施設だけで絶対利益を出さないかたつどということでは、私はこの公園についてはそういう性格ではないと思います。

普通のスーパーであったり、そういった店舗であれば、利益を追求して、最終的に利益がないといけないですよという発言はいいかと思うんですが、ただ、この公園については、市内の方はもちろんですけど、市外の方から来ていただくということが最大の目的でありますので、そこら辺は十分委員も理解していただけたらありがたいなというふうに思いますね。

大野雅子委員

皆様の意見を聞いておいて、私もいろいろ思いました。

番所丘は本当に若い家族もたくさん来ていて、よそからこのオートキャンプ場を造ることで今まで来れなかった方たちも興味を持って来るようになるいい施設になっていく、経費はかかっているけどいい施設に、阿久根の目玉の施設になっていくんだらうと思います。

ただ、やっぱり利益が市内に落ちるように、いろんな工面をしていかないといけないと思うんですね。

都市建設課っていうのは、本当にもう草刈りから何からすごく仕事も多くて、商売のことを考えることは、そこまでできるんだらうかというのがすごく不安で、私も一般質問でも聞いたりしたこともあったんですけども、そういう商業的なことはやっぱり商工観光課に任すとか、企画課とか、例えば、この間の見学に行ったところも、最初港の開発をするのに港湾課というふうにしてあったのを後で変えて、商工観光のほうに課が変わっていました。

やっぱり、そこら辺の建物のいいものができた、施設ができた、その後の運用は、じゃあずっと都市建設がしないといけないんだらうかとか、そこら辺をまた考えていかないといけないんじゃないんだらうか、阿久根の運用的なことを考えるんだらうたら、やっぱり商工観光課とか企画課のほうに、今度は、修繕とかそういうのはもちろん都市建設課でいいんですけども、運用までは、そこをさせるのはどうなんだらうかというのは考えました。

白石純一委員

これはですね、利用料金の変更が条例の内容なんですね。したがって、採算がこれじゃ取れないんだっていうんでしたら、この利用料金を1泊何万円にするとか、そういう議論になってくると思うんですね。

また、かつ、その条例の変更ですからして料金を設定してる、この先ほど私がうるさく言ってる、サイトの名称はこれで本当にいいんだらうかという条例のこの文面を、まあ先ほど言った、もうかるんだらうかとかそういう意味では、料金の変更、果たしてこの金額でいいんだらうかというところが論点になるのかなと私は思いますけど。

ただ、その所管課を変えて、そういうことは要望として大変いいことだと思います。

竹之内和満委員長

ほかに御意見ございませんでしょうか。
暫時休憩に入ります。

(休憩 午後1時38分～午後1時40分)

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。
ほかに御意見ございませんか。
〔「なし」と呼ぶ者あり〕
ないようでしたら討議に入りたいと思います。
討議ございませんでしょうか。

白石純一委員

私はこの名称がですね、本当にこれでいいのか疑問に思わざるを得ません。全てオートキャンプ、車で入れるキャンプであって、国交省の多分、あるいは環境省のサイトを見ても、オートキャンプ場とは車を乗り入れしてキャンプができる施設だということを言っておりますので、これだと非常にどうなのかなと思わざるを得ないっていうのが、私の討議です。

竹原信一委員

言われてみればそうですね。そうするとですよ、この議案を否決したときに、どんなふうになるんだっけ。どういうふうを考えてます。

白石純一委員

私は修正動議で、改正後のキャンプ場のところを、例えばオートキャンプ場に、1番左ですね。キャンプ場のところをオートキャンプ場にして、区画使用料3種類設定しなきゃいけないわけですから、区画使用料のまず1番上を、例えば広場オープンサイト、2つ目をテラスオーシャンビューサイトとか、3つ目をテラスオーシャンビューサイトドッグラン付きとかいうふうにしないと、それを実際販売するときに整合性がとれなくなるんじゃないか。その名称は、運営者と話し合って決めれば良いと思うんですけど。

竹原信一委員

それとですよ、今から、今の段階で、都市建設課とちょっと白石委員が話しして、どうにかする可能性はあるのかな。もうないから否決するというほうで考えてますか。

白石純一委員

私は、このままでは、私は反対せざるを得ないので、修正動議を出すかですね。

竹之内和満委員長

暫時休憩に入ります。

(休憩 午後1時42分～午後1時59分)

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

大野雅子委員

表記についてちょっと分かりにくいところがあるので、もう1回執行部に聞いてみたいと思いますが、呼んでいただけますでしょうか。

竹之内和満委員長

皆さんいかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、もう一度執行部を呼ぶということで。

暫時休憩に入ります。

(休憩 午後2時～午後2時8分)

〔都市建設課入室〕

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

先ほどからのキャンプ場の名称について、1区画使用料のオートキャンプ以外とオートキャンプについて議論になりまして、質問があるということで。

大野雅子委員

区画使用料のところの表記のところ、オートキャンプ以外、オートキャンプと今度されたと思うんですが、前は、あそこもオートキャンプで、広場のところもオートキャンプってということで、去年からの4月からの分はされていたんではないんですか。

池田都市建設課長

今のオートキャンプ以外というところについて、オートキャンプっていう言い方はうちとしても全然しておりません。これにもキャンプ場で、ただ区画で出していただけ。それと、今、番所丘の指定管理のほうをですね、一番星キャンプ場ということで、それを周知しています。そこの部分でありますので、うちもオートキャンプ場という言い方も全然しておりませんので、今回はそういう、オートキャンプ以外ということでさせていただいたところでは。

大野雅子委員

オートキャンプ場っていう、今回、以外、そこも車は乗り入れはできるわけですよね。

池田都市建設課長

できます。

大野雅子委員

キャンプ場とオートキャンプ場の違いっていうところで検索してみると、オートキャンプ場は車を乗り入れられ、すぐ隣まで乗り入れることができると。キャンプ場は駐車場にとめて持ってくるのがキャンプ場というふうに、まあ法令で決まってるかどうか分からないですけど、こう検索では出てくるんですけども、それで市民の人たちが勘違いするようなことはないですか。

池田都市建設課長

オートキャンプ場の定義っていうのは、はっきりこれだっていうのはないかと思います。

ですので、うちとしては、そこの定義で法令とかなんとかあることもありませんので、そこはもう問題ないかなというふうに思っているところです。

大野雅子委員

市民にはとにかく分かりやすくなるように、募集するときなんかは、どこの区画で、これが幾らですよというのが分かるように表示してくれるということですね。

池田都市建設課長

今もですね、指定管理のほうで一番星キャンプ場という形をとって募集等もかけております。そういった形で、今後、今度新たにできるところについてもですね、そういった名称を協議しながら募集をしようかなというふうを考えているところです。

大野雅子委員

それでは、今、都市建設課が考えている中では、この条例、この文章で、いろんな問題が起きてても対処できるというふうを考えていらっしゃるということですね。

池田都市建設課長

委員おっしゃるとおりです。

白石純一委員

オートキャンプ、今の表記で問題が出てても対処できるということで、問題がもちろん出てもらわないほうがいいわけですよ。オートキャンプ場でない、先ほどオートキャンプ場というのは、水道、電気設備があることがオートキャンプ場だというふうにおっしゃられましたので、本当にそれでいいんですか。

池田都市建設課長

オートキャンプ場が、電気、水道がないとオートキャンプ場と言わないんだっていうことではなくて、そういうことを言う方もいらっしゃいますし、車が乗り入れするだけでオートキャンプという方もいらっしゃいます。その定義がですね、オートキャンプというのはこういう定義なんだというのはありませんので、そこはもうそれぞれの認識だというふうに思っております。

白石純一委員

今、おっしゃったように、車で乗り入れるところはオートキャンプ場だと思ってる人のほうのほうは、私は多いと思うんですよ。一般的にはですね、オートキャンプのベテランの人はどうか分かりませんが、もうオートキャンプ、車で乗り入れるところがオートキャンプ場だという認識の人が多ければ、その方々に誤解を招かないようにするのが、条例、法令の考え方ではないのかなと思うんですが。

では、実際にどういう名称をつけるかはまだ協議していないということですか。

池田都市建設課長

今後の協議になるかと思っております。

竹之内和満委員長

ほかにございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、所管課は退室してください。

お疲れさまでした。

暫時休憩に入ります。

〔都市建設課退室〕

(休憩 午後2時14分～午後2時16分)

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

先ほどは、討議のところまで行きましたか。

〔発言する者あり〕

意見からいきますかね。

暫時休憩に入ります。

(休憩 午後2時16分～午後2時19分)

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

皆さん御意見言いました。

〔「言いました」と呼ぶ者あり〕

竹原委員は、どの立場でしょう。

竹原信一委員

何だっけ、修正案を出すって判断を白石委員は。

〔白石純一委員「いや、みんなが反対なら出す意味ないので」と呼ぶ〕

竹之内和満委員長

暫時休憩に入ります。

(休憩 午後2時19分～午後2時22分)

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

それでは、討議、引き続きお願いします。

白石純一委員

この条例の修正はですね、新しい表記が、キャンプ場の中に3つの区画の種類があり、そのうちのひとつ、オートキャンプ以外とあります。ところが、これは車でその場所まで乗り入れるオートキャンプ場にほかなりませんので、この表記自体が誤解を招く可能性がある条例であるので、これでは問題があるのではないかなと思ってます。

もちろん利用者にはより分かりやすく、オートキャンプ、車で乗り入れられるんですよという表記はされるということでした。それを分かりやすくするということが、一方で利用者向けにはオートキャンプ場ですと、ここでは、オートキャンプ以外ですよということは矛盾している点は、混乱を招きかねないのでどうかと思います。

竹之内和満委員長

ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

討議を終了いたします。

続きまして討論に入ります。

まず、反対討論ありませんか。

白石純一委員

討議でも申し上げましたように、この新たな修正の案は、改正後の案は、事実と異なるという誤解を、誤解というか、事実と異なるというふうにも理解されかねませんので、条例の改正としては適切ではないと思いますので反対します。

竹之内和満委員長

賛成討論ございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

はい、ほかに反対討論。

竹原信一委員

もう、このオートキャンプ場はですね、市の体制として始められるような状態じゃないです。

幾らかかるか分からないし、効果も計算していないって。もう失礼極まる状態、市の体制ができないうちに開けられる、店を開けられませんかと思いますので、反対します。

竹之内和満委員長

ほかに討論ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

討論を終結いたします。

これより、議案第16号、阿久根市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について採決いたします。

本案は、原案のとおり可決すべきものと決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

挙手多数と認めます。

よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で本委員会に付託され、会期内に審議すべき案件は終了しました。

本日採決されました案件に対する委員会審査報告書の作成及び委員長報告並びに議会だよりにおける広報委員長からの取材対応につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

○ 所管事務調査について

竹之内和満委員長

次に、所管事務調査について協議していただきたいと思います。

委員長としましては、本日、先日の視察の感想を各委員から述べていただいた後に終了に向けての討議をしていただきたいと思います。

それをもって調査終了とし、令和7年第1回定例会最終本会議の日までに報告を行いたいと考えておりますが、先日の視察の感想を述べていただいた後、終了に向けての討議を行います。

それでは、先日の視察の感想をお伺いしたいと思います。

暫時休憩に入ります。

(休憩 午後2時26分～午後2時28分)

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

大田基次委員

1番感じたのは長門市と宗像市のお客様の数ですね。これが大変な違いがあったっちゅうこと。そういう展示場としては、やはり宗像のほうは、一般の例えば、JAのスーパーみたいなもの、その日に家庭で必要なものがほとんどそこに行きや揃うのかなと。そこに、その産地のいろいろなお土産品とか物産品が加わってたと。そこに大きな違いがあるなど思いました。

それから、あと一つは、やっぱりイベント等に取り組む姿勢というか、勢いとか、その辺もちょっと違いを感じたところでした。

白石純一委員

大田委員がおっしゃったことにも私はかなり同意します。

特に宗像については、都市型の道の駅と言ってもよいかと思います。周辺の人口の規模、また福岡市北九州市からの距離を考えると、都市型のスーパーに物産館を合わせたようなものだというふうに理解しました。それはそれで、その立地上のそれが成功例だと思います。

一方で長門市については、決して交通が便利なところではない、そして海辺、そして港町ということで、阿久根市と大変、例えば阿久根市のこの旧港地区とかに大変似たような立地だと思います。まちの規模も、それほど大きくは変わらない。

したがって、この長門のセンザキッチン、阿久根にとって非常に参考になる案件だったかと思っています。

またそれは、先に拝見した八幡浜、そして天草、このあたりとも非常に共通点があったのかなというふうに感じました。

濱田洋一委員

先日、山口県長門市のセンザキッチン、それから宗像の道の駅の視察をさせていただきました。

それぞれ、先ほど大田委員、また白石委員がおっしゃられたような店舗の運営であったりとか、お客さんのそういった状況等については同じ意見でございますが、私が1番、何が大事なかなというのを1番感じたのはですね、やはり、センザキッチンと宗像もですね、それぞれ店長さんが、いわゆる館長ですけれども、センザキッチンの方はスーパーの元店舗を経験されていた、そして宗像のほうは役所あがりの方だったんですけれども、それに至るまで、店舗を造るまでの過程でですね、各種団体、例えばJAですとか、漁協ですとか、商工団体ですとか、そういった方々との協議会なるものを立ち上げられて、どういふふうに運営していったらいいかというのをされていたということがありました。

そして、立ち上げてから複数年、4年もしくは5年してから、そういった道の駅の設置をされて連携をうまくとっていらっしゃるなど。

それと、各種団体だけではなくて、いろんな方々の協力をいただきながら運営をされているというような感じを受けました。

我々、例えば今後、新たな道の駅を整備していくんですけれども、例えば最終、いつの時点で道の駅を設置する、それから逆算してですね、今の早い段階から、そういった大きな団体等にも呼びかけをして、ほかにもあろうかと思えます、商工会の団体ですとかです

ね、そういう方々の御意見もいただきながら、取り組んでいていただければありがたいのかなというふうな印象を持ちました。

牟田学委員

先ほど白石委員も言われましたけれども、もうこの道の駅むなかたにすれば、1時間以内に福岡、北九州の人口の、言えば1時間で来れるという、何て言いますか、それであれだけのお客さんが来て、回っていると思っております。

社長とも話をしましたけれども、やはり私たちが今計画をしている道の駅についてもですね、もうまず人口、お客さんだと思っております。

そういった中で、阿久根が抱えるのは、やはり、鹿児島市の人口、川内の人口、そこを何とかせないかなというふうに思っております。

高速道路が全線つながればですね、1時間ぐらいで来れると思うんですけども、今の状況じゃ、阿久根、出水、川内、なかなか厳しいかなというふうに思っております。だから、そういった人の流れ、多さ、これをやっぱり私たちは考えていかないかなというふうに思いました。

大野雅子委員

私も今まで皆様が伝えてくださったとおりでと思います。

道の駅むなかたのほうは、やっぱり福岡から近いということで、集客がもう見込める、最初からそう見込める場所で、いろんな地元の有機野菜だったり、そういうのまで取り組んで米粉パンを作ったり、いろんな、JA、そういうグループもしっかり役員として団体を、各団体を入れて、第三セクターをつくって行っている。ちゃんと計画的にやっていて、その中で、またちゃんと店長さんに任せて、その中でまたいろんな戦略を練って、地元の人たちからボランティア、いろんなイベントを行うについても、一応そこでみんなが好きにできるように、無料でその場所開放して、そこに来れば1日いろんな楽しい経験ができるというようなつくりになってました。

なので、みんな遊びに来る道の駅という感覚で、大きなところから人をどんどん寄せて、若い人にも分かりやすいようにSNSを使ったりとかしてやっておりました。

ここはちょっと大きいので、私たちとはまた違うんだろうなと、でもやり方なんかはすごく勉強になるなと思っておりました。

その前に見ましたセンザキッチンは、やはりこの場所は、こんな奥に行くのかという感じで、場所的には、交通の便も、今、電車もとまっているというような状況で行くような場所でしたが、それでも、九州・中国地域で1番になれているという道の駅をつくってました。

やはり、そこでの皆さんのいろんな作戦がうまいことって、いろんな人と一緒にやってるんだなど、おもちゃ学芸員を養成してそこで遊べるようにしたり、100人のボランティアを取ったり、いろんなクラウドファンディングをして、ここに皆さんが興味を持ってもらうようにする仕掛けをつくったりとか、本当にいろんなことを考えているなど。

その中で、100億近い利益で93万人、小さいまちに年間寄せるというのはすごい努力だなと思う。

でも、阿久根にも似てるものがありますし、海のものがあり、山のものがあり、似てるところなので、阿久根もみんながつながってちゃんと計画的にやっていけばできるんじゃないかという希望も持てました。

それも、やはり愛媛県の八幡浜でもそう感じさせられました。

みんなが、とにかく一つのこと、目標に向かってこれをやるんだということが、グループができさえすれば、阿久根もできるのではないかと。

ただ、まずどこ、今、港のほうも開発始まっています。それで、何年後にできるか分からないけど道の駅の話も今出てます。

その中で、まず、阿久根が早く潤うようになるのはどれが先かなとか、その順番、まちのつくりをどうやったらみんなを寄せることができるかとか、そのまちの全体的な形を考えていけないといけないんだろうなど、その中でいろんな団体と手を結んで、みんなでこれに向かっていきましょうというのをつくっていくべきなんだろうなというのを感じました。

竹之内和満委員長

ありがとうございます。

なかなか、いいところだったんですね。

〔発言する者あり〕

分かりました。

それでは、今のを踏まえた上で、討議を行いたいと思います。

〔竹原信一委員「テーマは。何をテーマに」と呼ぶ〕

事務調査の完了に向けて、調査事項についての討議を行います。

調査事項の1点目が観光の振興に関する調査。2点目が旧港及び青果市場跡地を含む市街地活性化に関する調査。3点目が新道の駅整備に関する調査。以上の3点が調査事項でありました。

一つずつ討議をしていきたいと思っています。

まず1点目、観光の振興に関する調査。これについて、討議を行いたいと思います。

ちょっと広い範囲のテーマですので、なかなかとは思いますが、何かございませんでしょうか。

牟田学委員

観光の振興については、上天草かな。でしたよね。あとは、道の駅じゃなかったっけ。

竹之内和満委員長

そうですね。あとは全部道の駅に入りますね。

牟田学委員

じゃあ、天草の上天草ですね。

竹之内和満委員長

視察先でいえばですね。

何かありますか。

白石純一委員

もちろん、お伺いした道の駅も全て観光のために造られているわけですがけれども、道の駅以外ということでは天草でした。ただし、上天草ですね。ただし、これも機能的には道の駅とそれほど遜色ないものだと思います。施設の名称とか形態がちょっと道の駅とは違うとは思いますが。ただし、上天草で、やはり海を前面に押し出しているということが、阿久根にとっても大変参考になるやり方だと思いましたし、上天草の議員さんで、漁師を兼職されている方が、船で阿久根にも昔よく行くってたと。つまり、阿久根と上天草は、

特に昔は船でつながる、上天草に限らずですね、天草との交流は非常に盛んだったわけですので、その辺りも天草と阿久根の海での海上の交流も、もっと阿久根にとっても生かせるのではないかなと思ったところです。

また、観光については、上天草、八幡浜。上天草には遊覧船のクルーズ乗り場がありました。センザキッチンにも遊覧船の乗り場がございました。八幡浜にはフェリー乗り場と、あと近くの島、小さな島、大島というんですけれども、そこに向かう定期船、これはもう生活航路であるとともに観光客も利用できる路線でありました。

つまり、海に面したこれらの道の駅、そして観光施設、我々が見たところでは、すべからず渡船場が拠点としての役目も果たしているというところは、我々阿久根としても十分考えなきゃいけない、参考にできるのかなと思ったところです。

また、上天草につきましては、主に大きな2つの施設を見ましたが、一つは官設民営、もう一つは全くの民設民営。ただし、土地はいずれも市または県のものですけれども、従いまして、やはり民間の力を活用しなければ、やはり観光というのは、官だけでは成功はしないということも強く意識できました。

大野雅子委員

私も白石委員の意見に同じようなことを感じています。

阿久根は本当に、海がありいい場所だと思うんですね、場所的には。

上天草や、この、見てきたセンザキッチン、八幡浜、やはり海を売りにして、魚を売りにして、皆さんよそからも集まっているし、地元の人でも喜んでいました。

それで、入込客数なんかを見てもですね、上天草もなかなか行きにくい場所なんですけれども、令和4年度で210万人、観光消費額にしても123億円の消費額が落ちています。そして、センザキッチンでもやっぱり99億円、93万人という金額が落ちています。

外貨を稼ぐ、経済的に阿久根が豊かになるには、いろんな方法はなかなかもう難しいので、まずはこの自然のある観光名所を上手に見せて、みんなに遊びに来てもらって、そこで遊んでお金を落としてもらおう。

まだ、いいものはあるけど落とす場所をつくっていないと思うんですね。遊びに、今、その一つとして、やっぱり番所丘なんかも遊びに来てくださいということで一生懸命つくってくださってるんですけど、ここにやっぱり民間の知恵もやっぱり入れていかないといけないし、そこで事業する人の知恵も一緒に同じ思いになってもらわないといけないし、稼いでもらわないといけないと思います。

観光としては、阿久根は海を使うのはとてもいいことなんではないかと考えています。

濱田洋一委員

先ほど来、委員の方々がおっしゃられてますように、特に八幡浜ですとか、海に面した、海を活用したというコンセプトの下にですね、それに付随する形でいろんな施設ができており、やはりその地域に人が集まる工夫というのをされてるなど。

何が大事かというのは、やはり市民が集まるような場所にしたいなというコンセプトのうちゅうのを最初ですね、皆さんで作られ、またそれを実行するためにはどうしたらいいかという協議をなされて、成功しているところではなかったかなというふうに思っております。

ですから、観光振興の中で、特に自然豊かな宝のまち阿久根というスローガンを行政側もありますけれども、やはりこの海を生かした、このロケーションを生かした取組ですね、

まずは市民の方に集っていただく、そういう場所の設定といたしますか、今後はやはり5年後10年後、さらには20年後の将来の阿久根の在り方というのをビジョンとして描いた中で、いろんなコンセプトを持った中でですね、いろんなことに取り組んでいくべきではなかろうかというふうに思っております。

竹原信一委員

今、濱田委員がおっしゃった、そのコンセプトをはっきりさせなきゃいけないというのは非常に重要な視点だと思いますよ。

今、観光、商店街、道の駅で行ってますけども、これは一つのものとして見なきゃいかんわけですね。どうするのと。例えば、まちのこの辺に宗像みたいな、なんか造ったとします。商店街はもう諦めないかんわけですよ。それもはっきりさせないかんわけです。観光の振興の目的は、やっぱりお客さんが来て、市民も来て、お店も観光の対象ですよ。そういったお店を造って、客をたくさん呼んでって、やるっていうのははっきり決めるなら決めていいんですよ。それもなしに、商店街をどうしましょう、来て喜ぶとって観光地をそのままきれいにしたって何もできないわけですよ。

提案するためには、トータルとして方向を決めなきゃいかんのですよ。それがあって初めて提案という意味があるわけです。

私たちはこんないいものを見ました。どれでもかじって利用してくださいって、これじゃ駄目ですよ。はっきり言わないと、こっちは。

〔濱田洋一委員「今、それぞれのあれを言ってるわけです」と呼ぶ〕

それを言わないと、この委員会で成果を出したということにならないじゃないですか。私たちは見てきました、あれを見てきました、よかったですよじゃ駄目で。

大野雅子委員

なので、今見てきたことを見ていない方たちに教えて、こういう方向でいきたいと思いますということを説明していると私は理解してるんですが。ここでみんなで考えましょうよというのを伝えて、まずそこをまとめていきましょうよっていう時期なんじゃないですか。

竹之内和満委員長

最終的にまとめます。

〔竹原信一委員「まとめてあるから」と呼ぶ〕

今、意見を出してますから。

白石純一委員

まさにですね、竹原委員がおっしゃったのもそのとおりでありまして、今回、視察の対象にはなった。その前に、八幡浜は地元の商店街の方に出資をしていただいて、道の駅の第三セクター、市も出資して第三セクターをつくり、そのテナントとして、その方、地元の商店が入られている。まさにそれが竹原さんがおっしゃったような、みんなでそのまちをどうするかを考えなきゃいけないということが具現化されてたのは、八幡浜だと思います。

そして、今回視察にはいきませんでしたけれども、枕崎の漁港にも商業施設等がありますけども、そちらも地元の商店が入って、食堂とあわせてですね、お魚センターですかね、まさにそれも地元の方々による、港を中心としたにぎわいづくり、そしてビジネス、稼ぎにつなげるということをやっておられました。

まさに、ですから竹原委員がおっしゃったようなことを我々は考えていかなきゃいけな

いのかなと思っています。

竹之内和満委員長

ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、次のテーマにいきます。

それでは、旧港及び青果市場跡地を含む市街地活性化に関する調査について御意見を伺いたいと思います。

いかがでしょうか。

牟田学委員

青果市場跡地の利用については、今度公募が始まって、ある程度事業者が決まってくるんじゃないのかなと。私は、だからその事業者がどういうことをやるのか、まずそこを見てですね、多分ちょっと変わったことやるんじゃないのかなというふうに私は思っております。

それと今、観光についてもですけども、私が1番思うのは、今、折口三文字の近くでコーヒー店をやっていらっしゃる方もおられます。そういったことで、個人がですね、個人がそれぞれ、今、何とかせないかんというところでやっております。

それは、しっかりその脇本海岸直線上もですね、今からやっぱり変わってくると思うんですよ。

だから、そうやって個人個人でやっておられる方も結構いらっしゃると思うんで、そこ辺りを、もっと大事にしていますか、やっていけば、阿久根市のこの全体を見てですね、直ちにこうできる、こうできるっていうのは、ちょっとやっぱり難しいのかなというふうに思っていますんで、私は、脇本海岸を何とかできればというところで、今度の予算の中にも水道の本管が入るようになりますから、水道ができればまた違う組立てとといいますか、できると思うんですよ。

そこ辺りを、私は、まずそれぞれで地域を盛り上げるっていうか、そういうふうな取組が必要かなというふうに思っております。

竹原信一委員

今のテーマは、旧港とか青果市場跡地、市街地活性化の話じゃなかった。

〔発言する者あり〕

大田基次委員

青果市場、ほかの業者が応募してやっていくというようなことになるかもしれませんが、一応場所とか建物とかよりも前に、やっぱりこれまで視察してきたところを考えると、やっぱり熱意を持って動く人がいるんですよ、必ず。もう延岡辺りはもう特に、あの人はトップだから、トップのあの人に勝つ人は、そうざらにいないとは思いますが、やっぱり熱意を持って動く人、阿久根で言えば温泉まつりとか、そういうのを引っ張っていく人、私は人材が先だと思うんですよ。

やっぱり人を先に探さないと、場所や建物じゃないと思っています。

竹原信一委員

阿久根市にはですね、いたんですよ、すごい人が。

〔発言する者あり〕

そう、亡くなったけど、あの人が実際やって見せたんですよ、大成功を。

さあ、阿久根市皆さんがですよ、私たちが何かしようとするこの辺で行ったときに、そこと張り合わなきゃいけないんですよ。それも含めて考える必要があると思いますよ。

よそから客を呼んできます、活性化します。さあ、そっち行くかこっち来るかということになってしまうんじゃないですかね。

竹之内和満委員長

この際暫時休憩します。

(休憩 午後2時56分～午後2時58分)

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

白石純一委員

旧港と青果市場跡地を含む中心市街地の活性化。

皆さんおっしゃるように、青果市場跡地、これはこの旧港開発のためのきっかけとなるべきであって、旧港開発にも、今後それから派生した開発をしていかなければならないと思う。それが、この市街地の活性化につながっていくと考えます。

そうしたときに、やはり港を利用した集客という意味では、八幡浜であるとか、上天草であるとか、センザキッチン、実例として非常に重要であり、かつ、先ほども申しましたように、必ず渡船場があるということも一つのヒントではないかと思います。

そして、実は、それを市として考えていたのが、うみまちにぎわい再生整備基本計画なんです。それがもう既に忘れられてしまっています。

それをもう一度検証してですね、いいところはもう一度スポットライトを当て、非現実的なところはもちろん修正しながら、せつかくこの計画がある、これを一つのたたき台として、青果市場、旧港、そして、その先に広がる海と、阿久根大島も含めてですね、私は阿久根大島まで市街地の一部だというふうに、観光という観点からは捉えておりますので、ここに私は、今後阿久根市の観光の資源を集中すべきではないかなと思っています。

竹之内和満委員長

ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、もう一つの、新道の駅整備に関する調査ということで、御意見を伺いたいと思います。

大田基次委員

道の駅という、仮称だから構わないんでしょうけれども、すぐ大川に、今、道の駅があるわけですね。そうしたときにこの1キロ以内に道の駅っていうのを認可してくれるのかなというふうに思ってるんですよ。だから、避難所とかそういうのを基本とした発想のほうに阿久根市は変えていったほうがいいのかないかなという気もするんですけど。

竹之内和満委員長

この際暫時休憩します。

(休憩 午後3時1分～午後3時12分)

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

新道の駅整備に関する調査の討議なんですが、何か御意見ほかにございませんでしょうか。

白石純一委員

新道の駅と最も競合すると考えられるのは、出水が計画している防災道の駅で、明らかにそちらのほうが早くできると思うんですね。

以前、議会で最も競合する施設のことを市としてどのように調べて把握しているのかということに対しては、一切把握してないという、内容については把握していないという、そのときの答弁でした。もう数年前ですけれども。

したがって、まず、我々としては、どういう、まあ我々というか、行政も含めてですね、出水がどういう道の駅を計画しているのかということを知らなければ、阿久根でどういう道の駅が必要になるのかは、やはり十分考えられないのではないかと思います。それが1点。

そして、阿久根の新道の駅は、今の西回り自動車道の整備状況を見ると、10年以内に果たしてできるのかどうかという懸念がございます。

最初に道の駅の構想ができたのが、もう既に10年近く前でございます。それと、これもやはり、本当にそのまま、10年前の計画のままでいいのか、できるときはもう、また10年後かもしれません。あるいはそれ以内にできるか分かりません。

ここでは、やはりもう一度慎重に見直すことも、規模・内容含めてですね、見直すことも考えなきゃいけないんじゃないか、そして、出水の道の駅ができた時点でさらに、どういったものが阿久根にとって必要なかを再度検証しなければならないのではないかなと思います。

そして、もう1点。

現在、その10年以内にできるかどうか分からない道の駅に対して6億円以上の基金が積みまれています。これは、市民にとって非常に、私はもったいない財産だと思うんですね。

それを、道の駅ができるときには、さらにそのときの、もちろん財政の手当ては必要になるでしょう。必要であれば、それこそ地方創生の資金、市債等も活用できるのではないかなと思いますので、非常に有効な使い方を考えるべきだと。

そして、先ほど申したもう一つの議案であります、旧港、青果市場跡地を中心とした市街地活性化。こちらのほうがスピード的には早く取り組めるのではないかなと思いますので、その順番もですね、検討していかなければいけないのかなと思っています。

竹之内和満委員長

ほかにございませんか。

〔「賛成です」と呼ぶ者あり〕

御意見として。ないでしょうか。

私の方も。

大野雅子副委員長

暫時委員長の職務を行います。

竹之内和満委員

道の駅に関する事なんですが、自分も半分は視察に行ったんですが、延岡の北川はゆ

まの敷地内に、内容的にもいいんですが、特に防災に関してとても、非常によかったですね。防災トイレに防災倉庫、予備発電、貯水槽。もうそういうの全部やって防災の拠点にしていますよね。そして、指定の緊急避難場所にもなってるということで、そういうふうな役目も、道の駅には果たしてもらいたいなというふうに思います。

あと、内容的なものなんですが、やはりどこに行っても特産品、目玉の商品が置いてありました。

八幡浜はママレードですね、あれはとても、買ったけどとてもおいしかったです。あと、ちゃんぽん、八幡浜ちゃんぽん。これがもうカップ麺になってて、阿久根市内のスーパーでも売ってあります、八幡浜ちゃんぽん。それだけ有名なものがあって、それ目当てに来ると。それまで、八幡浜の場合は、物があっても売場所がなかったのが、それがああいふ場所ができて、非常に、10年間で1,000万人の動員をしているということで、なかなかすばらしいですね。

あとですね、道の駅で言えば、北川はゆまの場合は、国道10号と東九州自動車道の両方からアクセスができるということで、阿久根の場合、国道3号と西回り自動車道のアクセスと一緒に、そこで質問して聞いたんですが、どっちのほうが多いですか、国道と東九州自動車道と来るのは。やや東九州自動車道のほうが多い、大体半々、50%、50%ということでしたので、国道10号から来る人たちはほとんど地元の人、高速の場合は割と遠めの人ということですので、それをうまくバランスをとれてるかなと。遠くから来る人のみではなくて、やっぱり近場の人たちもちゃんと来るような場所じゃないと、なかなか継続的にはできないというふうに思いますので、そのところを、ちゃんとやってもらいたいなど。

それと、経営については先ほどちょっと重なるんですが、もう官だけで造るのはもうほとんどなくなってきてますよね、お金もないし。必ず民が絡んできて、官設官営じゃなくて、官設民営、民設民営、または第三セクターは少ないですが。やっぱり、民も絡まないとなかなかやっていかないかなと思います。金銭的な面でもですね。

そういうところをちゃんとやっていく必要があるかなというふうに思っております。

大野雅子副委員長

それでは、委員長に職務を交代します。

竹之内和満委員長

ほかにございませんでしょうか。

白石純一委員

言い忘れました、すいません。

2つ目の旧港のところですね、市はなかなか、旧港は漁協の所有する構造物があって進めにくいんだということを理由にされていますが、市が漁協に対して補助をするなり、何らかの方法で市が財政的な負担を負ってですね、漁業はなかなかもう民間で、かつ、赤字経営であり、かつ、来年度には鹿児島県の漁協が一本化されるという計画もございます。

そうしたときに、いつまでも漁協にと言っている時代ではなくてですね、市が率先的に旧港の再開発を進めるべきだということを追加させてください。

濱田洋一委員

道の駅整備事業につきましては、我々市議会といたしましても整備促進協議会なるものも設置しております。

そういった中におきましてもですけれども、1番、皆さんのお話を聞きながら感じたこ

としましては、近いところに出水の防災道の駅というのが建設に取り組みられています。

そして、先ほどありましたけれども、いろいろ委員長からもですね、この3号線、それと西回り自動車道が開通したときの想定車両台数であるとか、そういう、いわゆる商圈といえますか、そういった調査も必要ではないのかなと思います。

それに応じた規模であるべきであるし、現在、整備予定地であります土地の買収というのもできておりませんので、まずはですね、青写真といえますか、たたき台、イメージをですね、どれぐらいのものでどれぐらいというのも、箱物をつくるという捉え方ではなくて、人が立ち寄っていただける、人を呼び込める施設の一環としてはどういったものがふさわしいのかというのをですね、いろんな観点から、いろんな調査をした中で、まずはたたきを作ってですね、それに枝葉を付けたり、もしくは、これは必要でないんじゃないかというようなことがあったりとかですね、この取組に当たっては、最終的な結論というか、こういったものを造りますよという前にですね、いろんな議論を喧々諤々やるべきことがまずは重要であって、そういった協議の場、協議会なるものをつくった中で取り組んでいくのがいいのかなと。

その中にはですね、冒頭私言いましたけれども、JAであったり、漁業団体、商工会団体の方々ももちろんですけども、民間のお力も借りるという中では、いろんなそういうことに特化した知見を持ちの方等の御意見等もいただきながらですね、やろうということで動いていますので、まずは手始めに、今ゼロですけども、ゼロをまず1にすることで、1から2、3、4、5とずっといきますので、やはり今のゼロの状態を1に持っていくために努力をせないかんのかなというふうに感じております。

竹之内和満委員長

ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、まとめに入りたいと思います。

まず、観光の振興に関する調査からいきたいと思います。

いろいろ御意見が出ました。その中でも、海を中心とした、海を前面に押し出している、ほかの地域の上天草、八幡浜、センザキッチンなんかもありますが、渡船場があるということで、海を中心にやったらどうかという御意見が出ましたね。

何かこの観光の振興に関する調査で何か御意見ございませんでしょうか。まとめに入る前に。

〔発言する者あり〕

何を結論とするかということですよ。

白石純一委員

先ほども申したように、天草は、今、非常にインバウンドを含めて観光がにぎわっております。海と、あとグルメですね、食に対しては、福岡、東京からもわざわざ寿司を食べに来るようなお店が数件もあるというぐらいです。

天草と阿久根は、先ほども申したように海ではつながっており、上天草には車で行くよりも船で行くほうが早いぐらいのものなんですね。したがって、そうした、長島、天草、そして長崎までを含めたこの西海岸の観光にも、阿久根はもっと積極的に絡んでいくべきではないのかなということもつけ加えさせていただきます。

竹之内和満委員長

ほかに何か付け足したい意見はございますか。

〔発言する者あり〕

この際暫時休憩します。

(休憩 午後 3 時26分～午後 3 時27分)

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

白石純一委員

2つ目のテーマでですね、先ほども、渡船場があるというのは魅力だということもございました。

そういう意味では、私は阿久根大島への渡船場はこちらに、再度ですね、誘致することも魅力の一つではないかなと思っております。

また、海の駅という施設も阿久根にございます。年に数十隻ですね、レジャーボートが入ってきていますので、そうしたこともしっかり結びつけることも大切ではないかなと思います。

竹之内和満委員長

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

いろいろあったほうが作りやすい。

大体分かりました。

それでは、まとめについては委員長にお任せいただいてもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしということで、まとめて皆さんに示しますので、それを見てもらって、その後に議会に報告いたしますので。

〔「最終本会議ですよ」と呼ぶ者あり〕

もう最終本会議になると思います。

〔「ボリュームがありましたから1時間ぐらいになると思いますよ」と呼ぶ者あり〕

分かりました。それでいきたいと思っておりますので。

所管事務調査としている観光の振興に関する調査、及び旧港及び青果市場跡地を含む市街地活性化に関する調査、及び新道の駅整備に関する調査については、これをもって調査終了といたします。

本件についての調査報告書の作成及び委員長報告並びに議会だよりへの掲載につきましては、委員長に御一任をお願いしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決しました。

以上で産業厚生を散会いたします。

(散会 午後 3 時29分)

産業厚生委員会委員長 竹之内 和 満